

171106 名古屋城跡全体整備検討会議（名古屋市民オンブズマン メモ作成）

整備室長 司会

西野所長 10月に引き続き出席頂きありがとう

天守閣の整備を議題にご議論

今回は各部会の報告

保存活用計画 天守閣整備 前回と大幅に変わっている

整備室長 前回 24回検討会議

渡辺 24回の概要報告

保存活用計画

見直す 整備計画は廃止

石垣部会、天守閣部会の検討状況を報告

天守台石垣調査 計4回 発掘調査中

市長のコメント 石垣部会から提言

天守閣部会検討状況 計5回

復元時代、通し柱検討、構造計画、補強

4項目提言

概要 石垣部会 発掘調査の学芸員確保、名古屋城事務所として責任を

天守閣部会 石垣を保全するため

内側の石垣は崩せない

24回議事録は確認中

整備室長 よろしかったか

赤羽 前回でれなかった 石垣部会と意見交換した

石垣部会「安全性を軽視しているのではないか」残念・無念

ぜひこういう場で石垣部会の考え方を述べたい

搦め手馬出し積み直し 時間がかかっている

地盤工学 新しい知見を援用している

伝統的工法をいかしていこう

安全性の確保を最重要視している

内堀 発掘調査をしている 私どもも安全性を重視している

・石垣を損なってはなんともならない 石垣そのものの安全性

・現場作業者の安全性 位置、工法を詳細に検討

・来城者の安全性 支障にならないように

「安全性を考えていない」ではなく、文化財保護は安全性なしには考えられない

名古屋市として、ご発言された方は適切な対応をお願いしたい

書簡を提出したが、並々ならぬ決意 進退をかけて
「怠っている」ことはない
名古屋市、発言者は再検討して欲しい

整備室長 本丸御殿の復元に修正
瀬口座長 資料について事務局に説明をしてもらう
住宅都市局 8月28日建造物部会の報告
工事状況 写真
1-2 工程表 (★なし)
建築装飾ワーキング 3回

瀬口 来年6月に公開
特になにかありますか？なにもない
素屋根が外されると完成が近いことがわかる
続いて石垣部会 石垣カルテについて

総合事務所 こうろ 資料2
全体の石垣調査
カルテ作成項目 石垣整備の手引き 基礎調査をベース
黄色 名古屋城の特有調査を追加
石垣カルテ作成対象の石垣
赤色は今年度 オルソ、石垣カルテ
黄色 今年度はオルソ 石垣カルテは来年度
青色 来年度以降オルソ、石垣カルテ
日常的管理 はらみだし危険箇所
来場者が多いところ
赤色から石垣カルテを作る
名古屋城全体の石垣の基礎的データをつくる
随時更新して石垣保全に役立てたい

小浜 石垣カルテは初めて見た
項目だけある 調査結果は記述されないのか？
こうろ 今年度から調査を始める
今後調査して作成する
全体整備検討会議でも石垣部会を踏まえて説明する
小浜 建築が専門 石垣の安全性を重視している

長期的安定性

耐震性

カルテからどのように評価するのか

こうろ 石垣の安全性 カルテの項目 まず考えているのは1枚目表面下

破損状況 面的に事細かに現状とりまとめをする

1枚目の裏の下 危険性 破損状況を踏まえて崩落可能性、利用導線

危険度を把握し、具体的な対策を

小浜 熊本地震でもそうだが、安全上耐震性が大事

どういうふうに評価するのか

総合事務所石沢 現在まで石垣耐震性基準はできていない

数値的な評価は難しい

破損状況 不安定化要素 抽出しつつ、多い箇所は実際の測量で観測

石垣に動きがあるか 地盤等の調査 少しずつ評価するしかない

小浜 現在耐震性、性能評価は難しい

せっかくカルテを作るのなら、現実的な評価をお願いしたい

瀬口 耐震性について石垣部会はどう考えているのか

赤羽 定式がないのでデータを蓄積して名古屋城の基準を作らないといけない

瀬口 まだ考えていないということか

赤羽 今後蓄積しながら考えていく

小浜 経験学的なものが大きい 専門家により試みて欲しい

丸山 石垣部会 植生、樹木はどうするのか

石沢 面において樹木等の繁茂がみられるか

丸山 管理計画 割れ目から木が生えているとか

樹種までわかるか

石沢 そこまでは考えていないが、わかる範囲で

丸山 写真を撮るんですよね

楠 大きくなる 大阪城 落ちてくる

早めに対応しないとけない

三浦 カルテの内容

天端と中段と裾部

天端石のことか、上のことか

石沢 上の方

三浦 天端石が残っているかどうかは違う

石沢 上の方に変更

麓 項目の案か。石垣カルテのフォーマットは別に作るのか。

調書としてのフォーマットはできているのか

石沢 まだフォーマットはできていない。書き込んでみて作ってみる

麓 今後項目が増えることがある。

高瀬 オルソが必要でない場合もある

全体立面の写真を急いだ方がよい場合も

全体石垣調査をする見通しはどうなっているか

事務局 現状を把握するためにオルソが先決ではないか

高瀬先生のおっしゃることは重要

何年までと言うことがいいにくい、作っていくことが大事

予算との兼ね合いがあって、オルソとカルテの計画

来年度以降オルソとカルテを作っていきたい

高瀬 そうじゃなくて、オルソがあれば望ましい お金もかかる 時間もかかる

オルソ、カルテの順番 最後まで行くのに時間がかかる

他のところではオルソは作っていない

立面の写真で代用している

全体を早くカバーした方がよい

全体がオルソが必要か？

事務局 今回調査する

来年度以降は高瀬先生の意見を踏まえて

瀬口 地震がくると間に合わない

写真が早いほうがよいという意見

カルテづくりは初めてか

事務局 はじめて

麓 黄色 水堀 水面より上のところだけか

水面下はできないですね

事務局 できるだけ近くに近づいて調査したい

麓 実際問題、水面下の石垣は水をぬかないと確認できない

瀬口 これらのことについて検討して欲しい

名勝二の丸庭園の発掘調査

総合事務所石沢

庭園部会で確認してもらった

本年度 赤色

瀬口 土がばらけていることはわかっていた

発掘調査で飛び石やいろいろわかった

高瀬 池全体に堆積土が認められるのか

石沢 はい

高瀬 水があったのか

石沢 江戸時代 水色に塗られていた

近代 軍が鯉を飼っていた

高瀬 近世とかんがえているのか

石沢 そう

高瀬 遺物で確認できなかったのか

石沢 確定できなかった

高瀬 近世に水があったのか、空池で明治になってから水が入ったのかは重要

重森図のあとで改変があったのではないか？という見解

昭和 12 年の重森図は間違いが多い

その後の改変ではなく、重森図はいい加減 間違っている いろんなところで確かめられている

堆積土の上に石が載せられている 改変されていた？

昭和 12 年以前に改変されていた可能性がある

石沢 もう一度冷静に検討したい

丸山 池全面にたたき 10 センチ・20 センチ 僕は確実に水があった

たたきは有名 たたきの成分 ものすごい池

城庭図にもでてきた こういうところまでわかったのははじめて

名古屋らしい 三種のたたきをうまく取り込んでいる

水をどこから持って行ったか 難しい問題

20 センチの厚さ 水を入れた 石沢さんは発掘屋だから慎重

会議のあとで見学会があるのか？

総合事務所 会議終了後、発掘の様子を見学して欲しい

瀬口 現地が見れる

それでは、報告おわり

保存活用計画 資料 4

総合事務所 こうろ

保存活用計画 全6回検討してきた

直近 6月に6回目検討会

7月に修正 皆さまに送った

それ以降の変更点を説明

163 ページ 第6章保存管理の方法

石垣 若干修正した

資料2 石垣カルテを踏まえて保全方針を定める

来場者の安全性確保 崩落等危険 維持保全・修復の方法

213 ページ 石垣の項目 慎重な検討

219 ページ 第10章 今後の方向性 石垣

天守閣の整備

195 ページ 6回目検討「一体として」「課題として」意見を頂いた

全体整備検討会議の皆さまの意見を踏まえ、文化庁と検討 説明

15:24

総合事務所 やなた

大きく変わっている 一から説明したい

A3 ホッチキス止めの資料

現天守閣の価値について 4つ

課題 建物・石垣・活用

課題を改修するには耐震改修と木造復元がある

利点説明

課題説明

対策

整備方針

課題は軽視できるものではないが、対策が可能

木造の優位性が高い

往時=どの時代かあいまい 今後検討したい

15:55

瀬口 ご質問は？

小浜 比較において、決定的に違うのは耐久性

もう少し強調してかいてほしい

中性化 10年に1センチ 50年で5センチ 鉄筋や鉄骨がさび出す

中性化が必要

腐食した鉄筋・鉄骨は取り替えられない 補強しかできない

木造は神社仏閣 分解解体修理が可能

痛んだ部分だけ取り替えればよい

R C耐震改修 数十年後には同じような問題が

耐久性では木造と違う

総合事務所 ご指摘のとおり コア抜き 鉄筋の一部腐食が確認されている

現在のところ対策方法がない

今後検討であるという書き方→もう少し検討

瀬口 他にないか

三浦 これは保存計画書にいれる文言ですよ

重要なのは木造と耐震補強 それは大事かもしれないが、重要な点が抜けている

現天守閣の価値 さりげなく書いてあるがしっかり書いてほしい

コンクリート天守 再建された数十基あるものの代表 最も重要で最も大事

こんなにあっさり

市民の要望によって 未来永劫 二度と燃えない

名古屋の経済発展 名古屋市民・愛知県民が心のよりどころ

名古屋市民は城で持つ 足らない

果たしてきた天守 耐用年限、耐震不適格大変

木造復元になるかもしれない

50年ほど存在価値を示してきた しっかり書いて欲しい

十分役割を果たしたという評価が足りない

コンクリート天守再建 石垣は文化財 大重量かけたら壊れる

中にケーソンを入れて支えた 画期的なこと

その後コンクリート再建 石垣の中にコンクリートケーソン・パイル

石垣に直接負荷をかけないように

根本的なものは名古屋城であった可能性が高い

価値の検証があまりにも簡単

(2) 位置づけ

「ケーソン施工により石垣に悪影響を及ぼしたという側面もあった」

学術的にどうか

刊行に間に合わせないといけない

ケーソンが果たした役割を評価できているか

ケーソンの下の地盤調査が必要

ケーソンを打ち抜いてボーリングして、現在の天守 もえて作った

50年前の熱気が少ない その頃の人に聞いたら現天守を残せが多くなる

早急にボーリング 耐震改修か木造か どちらにとっても役に立つデータが取れる

ボーリングを提案したいがいかがか

総合事務所 現天守の価値 中身の詳細が書かれていない

詳しい調査をして別途資料をつくった

調査内容をどこまで載せるか検討

ケーソン下の調査 検討しているところがある 今後実施時期についても検討したい

瀬口 ほかにどうですか

赤羽 今説明頂いた

やっぱり結論ありきがみえみえ 耐震改修より木造復元

比較表をみて普通決める 逆転している

文言も木造復元が多い

質問させて頂きたい 26 ページ 整備方針課題 バリアフリー エレベーター

防火の問題 火事の問題

防火のことが触れられていない

木造復元が抱えている課題を

逆に耐震改修 結局耐震改修より木造がいい 現天守のメンテナンスがやられていなかった

金額がいくらかけてきたかわからない

メンテナンスの不足 耐震改修の問題点に記録されている

防火とバリアフリー 大きな問題になるのではないか

総合事務所 偏った観点ではないか

木造復元の課題 フラットな目で評価したい

瀬口 他にはどうか よろしいでしょうか

質問していいか 「鉄筋コンクリート天守閣を作るのは歴史的必然」

人間があらがえないこと？

総合事務所 今回使ったのは、建築基準法上、木造復元が昭和 32 年ではできなかった

戦災復興の時期 耐震耐火が求められてきた 必然的に鉄筋鉄骨コンクリートが求められてきた

瀬口 選択したのならわかるが、関与できないのが「歴史的必然」

文献「木造を検討したが時間がかかるので、鉄筋にした」

総合事務所 再検討

瀬口 よろしいでしょうか

いずれも重要なこと

文化庁から平澤調査官 来て頂いている

平澤 先生方ありがとうございます。

保存活用計画 天守閣の問題について、こちらでも名古屋市含め、ご議論頂いた客観性を欠くような議論がなされていないか重ねて協議させて頂いている
慎重な検討を要する事項
石垣状態調査を進めて頂いている
推移をしっかりとご報告頂きながら、拙速な判断がされないように留意
引き続きよろしく願いいたします。

16:14

総合事務所 ありがとうございます。

全体整備の方進めていきたい

事務局から連絡

- ・本丸御殿オープン来年6月8日
- ・展示収蔵施設 西の丸 今年の6月現状変更許可 入札手続 12月
30年度末完成予定
- ・金シャチ横町 来年3月29日オープン
- ・時間が遅くなって恐縮だが、二の丸庭園案内する

次回全体整備計画は今後調整